

低軌道衛星向け地上局サービスで世界主要ノルウェー企業 Kongsberg Satellite Services 社と戦略的業務提携を締結 低軌道衛星関連事業の加速化と海洋情報サービス事業参入

スカパーJSAT 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長:高田 真治、以下スカパーJSAT)は、Kongsberg Satellite Services 社(本社:ノルウェー王国 トロムソ、以下KSAT)とアジア・太平洋地域での低軌道衛星向け地上局サービス事業および衛星画像を活用した情報提供サービス事業において戦略的業務提携を締結しましたのでお知らせ致します。

今回、スカパーJSAT が戦略的業務提携を締結したKSATは、約120基以上の衛星管制用の地上局を世界各国に保有し、合成開口レーダー衛星(SAR)や光学衛星等、異なる技術仕様・目的の低軌道衛星100機以上を対象に管制・運用を行っている世界的企業です。スカパーJSATは2015年度より新規事業領域として低軌道衛星関連事業に着手しており、この締結により、アジア・太平洋地域での地上局ネットワークの拡充を加速化させ、グローバル展開を計画している低軌道衛星事業者等へのより幅広いサービス提供をする所存です。

また、スカパーJSATは、KSATが既に展開している低軌道衛星からの衛星画像を活用した情報提供サービスにおいて共同展開すると共に、IoT時代に対応した各種海洋関連情報サービスについても共同で開発及び展開を行ってまいります。

本戦略的業務提携の主な内容は以下のとおりです。

- 低軌道衛星向け地上局サービス事業
 - ・ KSATが展開している世界的な低軌道衛星向け地上局サービスにおける、アジア・太平洋地域での共同展開
- 衛星画像を活用した情報提供サービス
 - ・ KSATが既にサービス展開を行っている「不審船検出サービス」や「オイル漏れ検出サービス」等の情報提供サービスのアジア・太平洋地域等での共同展開
 - ・ 衛星画像を活用した各種情報提供サービスの共同開発

スカパーJSATは超小型衛星ベンチャー アクセルスペース社への出資(2015年)、グループ会社を通じて開始した米国Planet社の光学衛星画像の日本での販売開始(2016年)等、低軌道衛星ビジネスに取り組んでまいりました。そして2017年度第一四半期にはスカパーJSATの地上局設備を拡充し低軌道衛星向け地上局サービス事業を開始いたします。今後の技術発展に伴う衛星の小型化や、廉価な衛星打ち上げサービスの拡大、さらにはIoTビジネスの活況化を背景に、数多くの低軌道衛星の打ち上げが予定されております。

スカパーJSATは宇宙・衛星事業のパイオニアとして、アジア No.1 衛星事業者として、世界的に成長を遂げる可能性のある分野として注目されている低軌道衛星ビジネスに取り組んでまいります。
以上

【参考①：KSAT 社概要】

- ・社名：Kongsberg Satellite Services AS
- ・本社：Tromso, Norway <http://www.ksat.no/>
- ・株主：Kongsberg Defense and Aerospace 50% / Space Norway 50%
- ・売上：NOK 592 百万(USD 67.3 百万) (2015)
- ・事業：①低軌道衛星向け地上局サービス事業
②衛星画像を活用した情報サービス
- ・地上局所在地： Svalbard(Norway)、Tromso (Norway)、Troll (南極)等、世界約 20 ヶ所。

<KSAT のグローバル地上局ネットワーク>



<KSAT の Svalbard 局>

ノルウェー王国 Svalbard（北緯約 78 度）にある地上局。このドーム内に、3～13m 級のアンテナが設置されている。



【参考②：スカパーJSAT が KSAT と共同展開する情報提供サービス】

＜不審船検出サービス＞

- ・合成開口レーダー衛星（SAR）にて撮影した画像に、船舶認識信号（AIS 信号）をあわせて分析し、不審船を検出するサービス。
- ・撮影画像には写っているが、AIS 信号が発せられていない船（下図では赤）を不審船として検出。



＜オイル漏れ検出サービス＞

- ・合成開口レーダー衛星（SAR）にて撮影した画像を分析し、オイル漏れを検出。
- ・船舶認識信号（AIS 信号）をあわせて分析することにより、オイル漏れをしている船舶を特定するサービス。

